

安全衛生報

安衛委 No105
平成22年8月6日
安全衛生推進委員会

健康管理教室

六月二十二日に行われた定期健

康診断の結果を皆さんに配付致しました。その中で有所見者の方が沢山見受けられましたので、印の付いている方は、再検査を受け医師の指導のもと、治療をするなり生活習慣を見直して定期的に医師の診察を受けてください。

の付いている方は、自分なりに生活習慣を見直せば改善出来ると思いますので、適度の運動を行い、暴飲暴食を慎んでください。今年の健康管理教室は、八月十九日(木)午後一時より船引事務所に於いて、清水医院理事長清水敬介先生に、個別指導をして頂くことになっておりますので、該当者は健康診断結果表を持参の上、指導を受けてください。



蜂に注意

これから着工

する現場では、草刈りや、測量、丁張りなど、雑草地に足を踏み入れることになり

ます。夏場から秋にかけて蜂刺されが増えてきます。局所症状では刺された箇所が赤く腫れたくらいで済みますが、全身症状になると喉が詰まったような感じがして胸が苦しくなったり、口が渴き、口



の中がしびれたような感じがします。また、腹痛、下痢、吐き気を起こしたり、さらに頭痛、めまいがしてその場にうずくまったりします。目が見えなくなったりして、意識がはつきりしなくなったりします。一刻を争って緊急処置をとらなければ、死亡してしまいますので、直ぐに救急車を呼んで病院で治療してください。

作業中に下記の症状がでたら熱中症

- 前胸部の皮膚発疹
- めまい
- 吐き気
- ふらつき
- 顔色がわるい
- 頭痛
- 疲れやすい
- 下肢や上肢の筋肉の痛みやけいれん

福島県警のまとめによると、県内で今年上半期の飲酒運転による逮捕者件数は、七十一件と前年同期の三十四件から倍増し、前年一人だった飲酒事故による死者は五人に増えた。

飲酒運転 逮捕者倍増

上半期に起きた飲酒運転事故は二百二十九件で、前年同期より二十三件増加し、怪我人も二十七人増えて七十人だった。

月別の逮捕件数は、いずれの月でも前年を上回っており、特に今年六月の逮捕件数は二十一件で、前年の一件から大幅に増えた。飲酒運転した理由で「見つからなければいい」43%、「事故を起こさなければいい」31%という認識の甘さが増加傾向の背景にあるとみて、夏場の取締りを強化している。

各現場での安全対策又はヒヤリ体験談

今回は国道288号国道改築工事を担当した遠藤長男課長です。

毎日の安全管理は、朝のKY活動で始まり、一人一人の健康を確認し作業打合せを行いました。

現地においては、BOXカルバートが主体の為、足場クレーン作業と安全パトロールから見れば危険がいつぱいの現場でした。クレーン作業はオペレータと必ず打合せを行い、周囲、合図の確認を徹底し事故防止に努め、足場法面については必ず点検し、毎日足元注意の指示と転落防止に努めた。

第三者に対しては、田の中央にBOXを造っていた為、最初の方は年配者の方が見学に来ていたので、立入禁止看板、柵を設置し事故防止をした。

今回は構造物ばかりの長丁場の現場で作業員をはじめ第三者の事故もなく完了でき、皆さんの協力に感謝いたします。



国道改築工事完成写真